

災害時の浄化槽の広域的な復旧体制作りのための検討 WG 実施計画

(1) 1回目 WG【11月11日(水)】

1) 実施内容

①災害時の浄化槽被害等対策マニュアルの改訂に関する検討

ヒアリング結果を反映しながら以下の内容を中心としてマニュアル素案のたたき台を作成し、改訂案で追加・修正等すべき内容を地震・水害の事例別に検討する。

- ・浄化槽に係る災害対策計画あるいはその他の有効な計画
- ・事前準備として必要となる物資や協定（連携体制）の内容
- ・早期の応急対応・復旧に向けて発災時・発災後に収集・活用すべき情報とその情報伝達（どの主体に、どの程度の規模で何を依頼するのか等）

②災害対策等に有効な情報の活用に関する検討

(a)台帳とハザードマップ等の関連情報を活用した災害推計等や、(b)災害時に収集すべき情報及びその活用方法について、以下のように検討する。

- ・(a)と(b)において活用できると考えられる関連情報の紹介
- ・(a)について、台帳と関連情報を活用した被害規模の推計事例の紹介 →事前準備へ活用
- ・(b)について、浸水域とその被害基数を予測する事例の紹介 →応急対応へ活用

2) 資料

- ・ヒアリング結果（要点整理したもの）
- ・マニュアル素案のたたき台
- ・上記(a)、(b)の内容の説明資料

(2) 2回目 WG【12月上～中旬予定】

1) 実施内容

第2回検討会の意見を元に修正したマニュアル素案、災害対策等に有効な情報の活用の内容について議論する。

2) 資料

- ・第2回検討会での意見まとめとその対応（案）
- ・マニュアル素案（修正版）
- ・上記(a)、(b)の内容の修正版